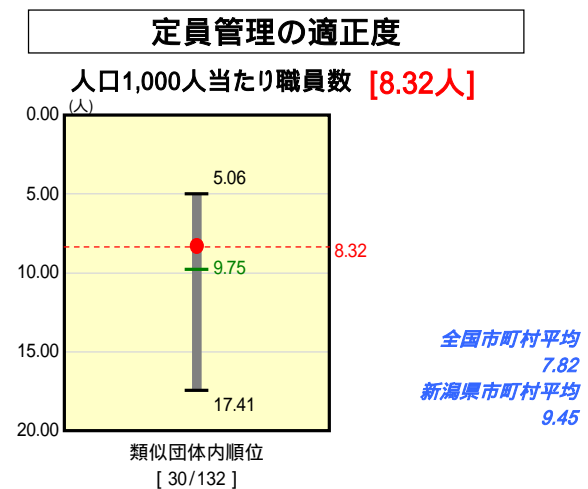
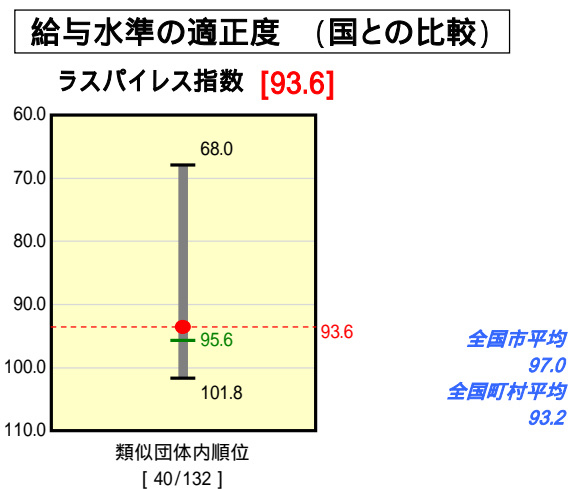
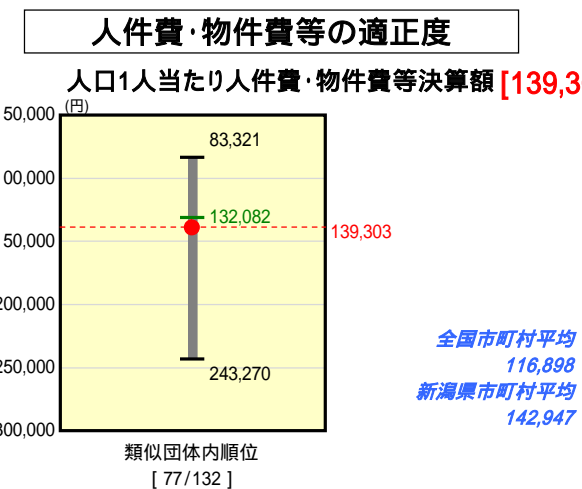
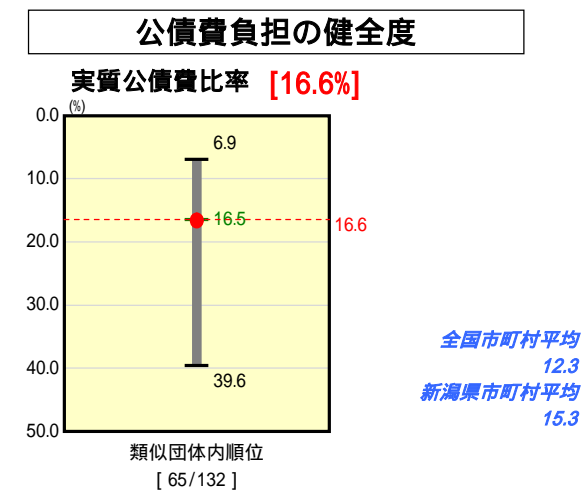
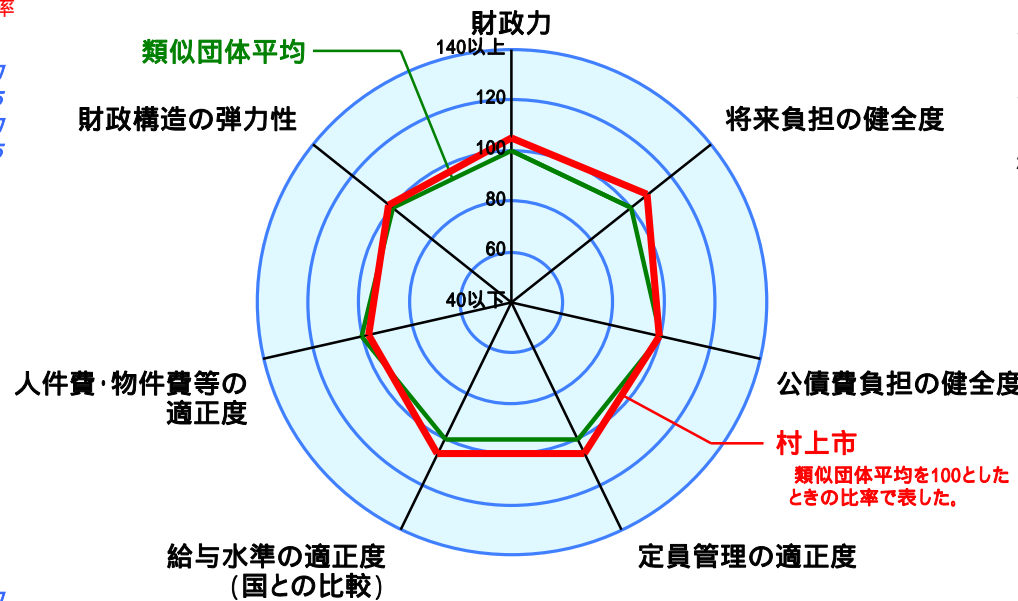
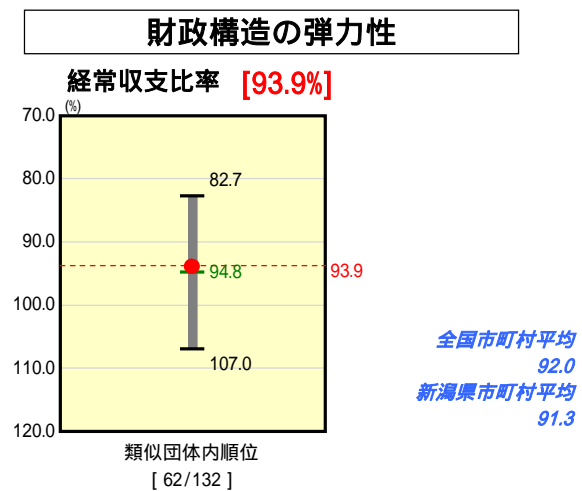
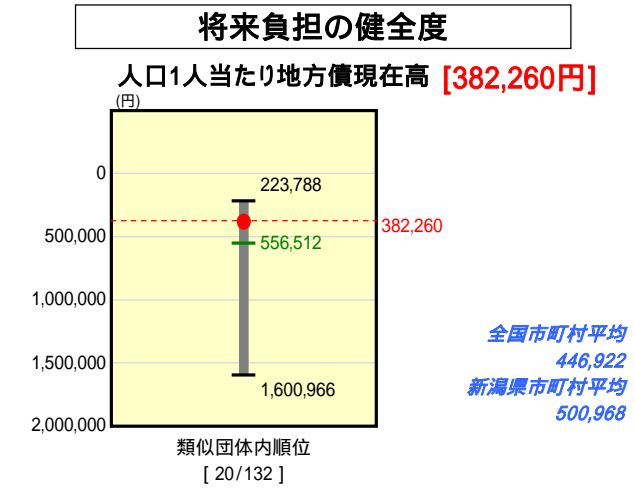
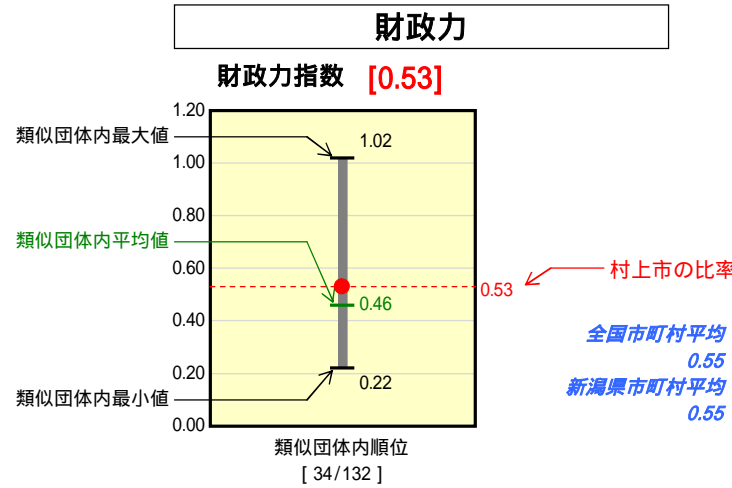


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

新潟県 村上市

人口	30,051 人	(H20.3.31現在)
面積	142.12 km ²	
歳入総額	11,371,379 千円	
歳出総額	11,314,235 千円	
実質収支	57,144 千円	



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

平成20年4月1日合併により村上市となった。(村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5市町村)

【財政力指数】
類似団体平均をやや上回る状況が続いており、H15年度以降微増となっています。

【経常収支比率】
類似団体平均を下回っているもの高水準となっています。財政健全化への取り組みなどにより、経常的経費は減少傾向にありますが、地方税、普通交付税を中心とした経常一般財源も大幅な増加は見込めなく、また、合併に伴う3月打ち切り決算により経常経費充当一般財源に当たる歳入が未収になった影響もあり、前年度比では2.6ポイントの上昇となっています。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
県内市町村平均を下回っており、H15年度以降はほぼ横ばいですが、今年度は合併に伴う電算システム統合にかかる経費等が増えた影響もあり、前年度比では30,282円の増となっています。

【ラスパイレス指数】
特殊勤務手当の廃止・見直し、退職時特別昇給の廃止、管理職手当の臨時削減などを実施してきたことから類似団体平均、全国市平均を下回っています。

【人口1人当たり地方債現在高】
新規発行債の抑制により、地方債現在高は減少傾向にあります。

【実質公債費比率】
平成19年度決算を基に新村上市合併市町村(村上市、荒川町、神林村、朝日村、山北町の5市町村)の数値を合算して算出した参考値となっています。

【人口1,000人当たり職員数】
定員適正化計画に基づく民間委託の推進や事務の見直しなどにより、職員数の見直しを図ってきたことから、類似団体平均、県内市町村平均を下回っています。